

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立 大砂土東小学校



- 1 学校教育目標 「心ゆたかに」「かしこく」「たくましく」
- 2 めざす児童像
元気な心と体をもち何事にも
進んで取り組むことができる児童の育成
- 3 めざす児童像を実現するための3つのG
Grit 「やり抜く力」で真の学力を育成する。
Growth 一人ひとりの成長を支え障害学び続ける力を育成する。
Global 国際社会で活躍できる人材を育成する。



■所在地：さいたま市見沼区大和田町2丁目998番地 ■電話：048-684-8003
■FAX：048-684-8965 ■交通：東武アーバンパークライン大和田駅より徒歩15分

SDGs における学校の目標

- 総合的な学習の時間や他の関連教科の指導を通して、SDGs への関心を高め、持続可能な社会の担い手となるために必要な、資質・能力を育成する。
- 地産地消を推進し、教科等での横断的な指導も取り入れ、残食を少なくする取り組みを行う。

01 授業を核としたSDGs 教育の推進

社会、理科、特別活動、保健体育、G・S、総合的な学習の時間を中心とした合科的な授業による推進



各教科等の指導内容にはSDGs 教育と関連した内容が数多く含まれている。各教科の授業を通じて、SDGs 教育の推進を図ることが学校や児童に対しても非常に効果的であると考えた。

特に総合的な学習の時間においては、

- 3学年【地域】「地いきの すてき発見」
- 4学年【福祉】「共に生きる～人にやさしいまちへ～」
- 5学年【国際理解】「こんにちは世界の友達」



- 6学年【伝統・文化】「発見！MY 世界遺産」の単元を設定し、SDGs 教育の推進を図っている。

02 給食に関する様々な取組による啓発活動

より美味しく、より楽しく、より感謝する、給食指導の取組へ



本校では、給食を残さないことも大切にしているが、食べることが義務のようになってしまい、残した児童が責められるようなことがあってはならない。児童が給食を美味しく感じて、給食を食べることが楽しく、しかも生産者や調理をしてくれた方への感謝の気持ちをもって食べられることを大切にしている。

そのための給食指導での具体的な取組としては、給食時間の給食委員会による放送を毎日実施している。給食委員会の児童が給食のメニューについて、その料理の由来や食材についての詳しい内容を紹介している。また、家庭に向けては「給食だより」を配付し、家庭で児童と給食についての会話を啓発している。さらに、給食週間の実施やセレクト給食、給食コーナーの活用などの取組を行っている。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立

> 見沼小学校 >>>>>>>>

【学校教育目標】

考える子 元気な子 仲良くする子

㊦んな仲良し ㊧くもりのある ㊨ことの学び舎

【目指す児童像】

世界と向き合い、ゆめをもち、発信力のある子



■所在地：さいたま市見沼区東大宮 2-4-5 ■電話：048-663-7342
 ■FAX：048-663-9887 ■交通：JR東大宮駅西口徒歩15分

01 「個別最適な学び」の実現のために



本校では、「個別最適な学び」を実現するために、毎週水曜日の業前時間には、「スタディタイム」として、タブレットを活用して個別の学習に取り組んだり、動画を活用してより理解を深めたりしています。授業時間内でも「ミライシード」や「スタディサプリ」を効果的に活用しています。

例えば、発展的な問題に取り組むことで得意分野をさらに伸ばしたり、前学年の問題を振り返り苦手分野を克服したりするなど、自分の力に見合った学習を選択して取り組んでいます。

さらに、学習やタブレット活用におけるつまずきを解消することができるように、自立学習ルームの整備など環境を整えています。

また、体育の時間にカメラ機能で動画を撮影し、自分や友達の技の修正点等を探したりしています。さらに、学級の係活動でも、調べ物をしたり新聞を作成したりする等、活用場面を自分たちで考えながら様々な活動に取り組んでいます。



様々な場面で、ICT環境を最大限活用し、個の学びを深めたり、活動の幅を広げたりしています。

02 安全で安心な学校生活のために



本校では、児童が学校や普段の生活を、安全・安心に送ることができるよう、各学年で下記の取組を実践しています。それぞれの活動では、専門家の方を講師としてお招きし、発達段階に応じたお話や体験活動を行っています。活動を通して、児童一人ひとりが安全・安心な生活のために、自分にできることを考え、日々の生活に生かせるようにしています。



また、今年度も児童会が中心となっていじめ撲滅のために、全校で何ができるのかを考えて実践しています。安心した学校生活を送ることができるように「あいさつ運動」や「あいさつ隊」等、全校児童が同じ目標に向かって活動を継続していきます。

- | | |
|--|------------|
| 1年：交通安全教室 | 2年：防犯教室 |
| 3年：スマホ・タブレット安全教室 | 4年：自転車免許教室 |
| 5年：スクールロイヤーによるいじめ予防教室 | |
| 6年：スマホ・タブレット安全教室、スクールロイヤーによるいじめ予防教室、薬物乱用防止教室 | |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

片柳小学校



学校教育目標

「たくましく 学びをつむぐ やなぎの子」

目指す児童像

や やりぬく子
 な なかま思いの子
 ぎ きまりを守る子
 の のびる子・のぼす子
 こ こころざしをもつ子



明治六年開校
 開校一五〇年

■所在地：埼玉県さいたま市見沼区東新井 244 番地の 1 ■電話：048-683-3174
 ■FAX：048-683-8971 ■交通：JR 大宮駅からバス 25 分 JR 北浦和駅からバス 20 分

01 地域の自然を大切に守り継承する心の醸造



絶滅危惧種に指定されているクマガイソウは、本校学区内に自生地があり、御厚意で子どもたちが見学させていただいています。また、学区内には園芸農家が多く、多種多様な園芸樹木が色とりどりに栽培されています。子どもたちは日常的にそうした環境の中で生活しているだけでなく、開園 35 周年の花しょうぶ園

を見学したり、洋蘭栽培についての出前授業を受けたりして、学校生活の中で、地域の自然と多くふれあい、その美しさや価値について学んでいます。美しくかけがえない花を美しいと思う心や、他の場所にはない希少植物を守っていくとする心の醸造を進めています。



02 地域で育つ・地域と育つ



明治 6 年 (1873 年) 開校の本校は、親子何世代にも渡り本校卒という家庭も多く、学校と地域との関わりは、とても深く、温かなものとなっています。市の小学校の中でもいち早く開設したコミュニティスクールは、今年で 3 年目を迎えます。お年寄りとの交流発表会や、地域の伝統文化継承を目的としたお囃子体験、中学校との合同事業・行事など、地域の中で自分の果たす役割を考える中で、地域を「ふるさと」として大切にしてい子どもたちを育成しています。

03 いじめや差別を許さない心の涵養



クラスの友達や登校班で一緒になる上級生・下級生など、子どもたちは学校生活の中で、さまざまな集団の中で多くの他者と関わっていきます。理解できない言動してしまう仲間、気の合わない仲間、自分との異質感を感じさせられる仲間等と出会った場合でも、人として許されない行動は絶対に行わない気持ちを培っています。全市で行われるいじめ撲滅月間の活動はもとより、毎月のアンケート実施をはじめ、教育相談(毎月)、全校個人面談(年一回)等の機会を最大限活用し、子どもの心の変化に、迅速に対応できる体制を整えています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> **さいたま市立 七里小学校** > > > > > > >

- 1 「なかよく助け合う子」「なんでもがんばる元気な子」「しっかり考えて学ぶ子」学校教育目標のもと、児童一人ひとりの可能性を伸ばす教育活動の推進
- 2 創立150年を超え、親子3代が関わる地域に根差した学校
- 3 合言葉は「えがお かがやく 七里っ子」



■所在地：さいたま市見沼区東宮下 312 ■電話：048-683-3513
 ■FAX：048-683-8993 ■交通：東武アーバンパークライン七里駅徒歩 20 分

01 児童の安心・安全な「よりよい学校生活」のために

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本校では、特別活動の研究を通して、「互いに認め合い、よりよい学校生活について考えることができる話し合い活動の充実」に力を入れています。その中で、すべての児童が自分の意見を言うことができ、話し合いのテーマに沿って平等に意見交換ができるよう指導し、友達と協力して目標を達成しようとする意識を育てています。また、児童会長、各委員会委員長を中心に会議を設定し、各委員会が協力して児童会を運営していくようにしています。児童会運営にあたって、児童会テーマに沿った活動計画は児童中心に考え、実行しています。児童全員が安心して充実した学校生活を送れるよう、児童会が作成する「いじめ撲滅スローガン」のもと、「いじめ撲滅の木」や「あいさつ運動」に取り組むことも、その活動の一部です。



02 児童と地域のよりよい生活のために

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



給食委員会では、「もりもりキャンペーン」を通して残菜ゼロを目指す取組を行っています。給食室の1日をビデオ放映したり、完食を目指す「元気もりもりの木」を作成したりして、今ある食べ物を大切にできるように指導しています。また、美化掲示委員会では、校庭のゴミ拾いや落ち葉拾いを常時活動として活動しています。PTA やおやじの会と協力して年2回「親子清掃」も行い、学校や地域の環境美化に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立 春岡小学校



- 1 学校は勉強をするところ⇒基礎学力の保証
- 2 学校は友だちと仲よくするところ⇒自己指導能力の育成
- 3 学校は安心・安全なところ⇒すべての教育活動の前提

■ 所在地：さいたま市見沼区春岡 2 丁目 29 番地 1 ■ 電話：048-683-3281
■ FAX：048-683-8974 ■ 交通：東武アーバンパークライン七里駅から徒歩 20 分 JR 宇都宮線
東大宮駅から国際興業バス アーバンみらい行き 春岡二丁目バス停下車 徒歩 5 分

01 ユニバーサルデザイン (UD) の考えを取り入れた授業づくり



本校では「豊かな関わり合いを通して、生き生きと学ぶ子どもの育成」を研究主題に、ユニバーサルデザインの考えを生かし、基礎・基本の定着を図る指導の工夫について、研究を深めてきました。令和元年度の算数科における研究で開発した「春岡スタンダード」をベースとして、令和2年度から令和4年度までは、国語科の研究で全ての児童にとってわかりやすい授業づくり・環境づくりを行ってきました。令和5年度からは、さらに EIT の活用を活性化し、様々な教科での「基礎・基本」の定着を図っていきます。



02 自己指導能力〈自己存在感、共感的な人間関係、自己決定〉の育成のために



本校では、自己指導能力を育成する上で、「わかる授業」を重要視しています。授業では児童の「できた」「わかった」「もっとやりたい」という気持ちを引き出し、自信や意欲につなげ、自己存在感を醸成しています。

また、特別活動では、縦割り活動、委員会活動、クラブ活動を充実させたり、行事では実行委員会を組織し、自治的な運営を意図的、計画的に体験させたりして、自己指導能力の育成に努めています。

さらに、さいたま市独自の教育課程である「人間関係プログラム」により、人間関係形成のためのスキルも身に付けさせています。



03 安全で整備された教育環境づくり



学校における「安心・安全」は、全ての教育活動の前提となるものです。安全で整備された教育環境づくりのために、本校では、月1回の定期的な安全点検に加え、毎日の点検も行っています。

また、地域、保護者、関係機関との連携も強化しており、特に P T A では、黄色の防犯ベストを全ての家庭に配付し、来校時等での着用を促しています。このことにより、犯罪の抑止力が期待されるだけでなく、保護者の防犯意識が高まり、児童の安心・安全につながっています。

さらに、日々の健康観察を徹底し、病気やけが等への丁寧な対応に努めています。併せて、感染症の予防のため、児童が密にならないような環境づくりを行い、万が一感染症が発生した場合の対応策も事前に想定し準備しています。

児童の心のケアが必要な場合に備えて、「児童生徒の心のサポート 手引き」を活用するとともに、日々の観察、アンケート調査等から児童の発する小さなサインを見逃すことなく迅速な対応ができるように努めています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> さいたま市立 蓮沼小学校 >>>>>>>>

- 1 「かしこく」「やさしく」「たくましく」の学校教育目標のもと、すべての児童が生き生きと学ぶ楽しい学校づくりを進めています。
- 2 開校50周年を迎え、明るく活力に満ちた学校、互いに学び磨き合う学校、整備され安全な学校、地域に開かれた学校を目指しています。
- 3 自分の力で考える子、みんなと協力する子、心身ともに健康な子、人との関わりを大切に育てる子の育成を目指しています。



■所在地：さいたま市見沼区蓮沼1070 ■電話：048-684-3678
 ■FAX：048-684-8964 ■交通：東武アーバンパークライン七里駅徒歩10分

01 基礎・基本を身に付け、自ら学ぶ子どもを育成するために



本校では、国語科を中心とした学びの改善に取り組んでいます。本校の課題（さいたま市学習状況調査の結果等をもとに本校の課題を分析）に合わせて、「個に応じた指導」の充実に努めています。また、GIGAスクールを推進し、児童一人ひとりの学習の状況に合わせて1人1台のタブレット端末の効果的な活用を充実させ、「個別最適な学び」を実現することで基礎・基本の確実な定着を目指します。「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」を進めることで、自立した学習者の育成、学習の自己調整力の向上を目指します。さらに、職員研修を計画的に実施し、振り返りや準備を行うなど、さらに研究を進めています。

02 健康に対する意識を高め、よりよい生活を心がけるために



本校では、毎月1回朝の時間を使って、全学年一斉に保健指導を行っています。養護教諭を中心に、毎月の保健目標に関わる取り組みや講話、ハンカチ・ティッシュ調べ等を行うことで児童の健康に関する意識を高め、よりよい生活を心がける態度を育てています。また、外部講師を招いての保健教室や健康・安全に関わる職員研修などの充実にも努めています。



03 自然を守り、共存していく大切さを学ぶために



本校は、四季を感じる木々や水辺の生き物が生息する観察池、各学年の育てる花や実のなる学年園、校庭の芝生など、多くの自然に囲まれております。そのため、生活科や理科において、敷地内で草花や生き物の観察、木の実や落ち葉などの採集をすることができます。PTA や地域の方々などの協力を得ながら、児童や職員が定期的に世話をしたり、管理したりすることで、自然を守り、共存していくことの大切さを学ぶ機会につながっています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
大谷小学校



学校教育目標 『生き生き きれいな学校』

《めざす児童像》

「自ら学び、自ら活動する子」 「豊かな心をもつ子」 「最後までがんばる子」

◎子どもたち一人ひとりが「通ってよかった、大谷小！」と思える学校づくりの推進

■所在地：さいたま市見沼区大字大谷 18 番地

■電話：048-685-8511

■FAX：048-685-5137

■交通：東武アーバンパークライン大和田駅から徒歩30分

01 環境教育の充実

委員会活動、PTA 活動の継続的なりサイクル活動の取組



本校では、資源リサイクルの活動に取り組んでいます。委員会活動では、チョボラ委員会を中心に、ペットボトルキャップ回収に取り組んでいます。全校児童に呼びかけ、各学級に設置している回収箱のチェックを行っています。多くの児童が、家庭等で集めたペットボトルキャップを積極的に持ってきています。

美化委員会では、紙ごみの回収に取り組んでいます。紙専用のごみ箱を各学級に設置し、余ったプリントや工作などで使った紙の切れ端などを他のごみと分別し、リサイクルごみとして出しています。

PTA 活動では、月2回古紙回収を行っています。牛乳パックや段ボールを児童が持ってきています。地域の方のご協力もいただき、毎回、たくさんの資源が集まっています。

今後も継続していくことで、資源の再利用の大切さや環境問題等について考える児童を増やしていきたいと考えています。

02 学びの向上大谷小プランの取組

読解力向上を目指す授業の推進



本校では、今年度から「学びの自律化と個別最適化そして探究化」についての研究について、研究推進委員会を中心に国語科・算数科の学習や特別支援教育についての研究を進め、教材研究等に組織的に取り組んでいます。

また、毎週金曜日の業前の時間に、「によきによきタイム」を設定しています。これは、国語科・算数科における基礎学力定着のための時間です。ICT機器の活用や詩の音読、新聞記事を使った読み取りなど、毎回、各学年で工夫しながら取り組んでいます。

児童一人ひとりが主体的に学習の意取り組み、基礎学力の確実な定着を目指していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は SDGs 教育を推進しています。



本校は、知・徳・体・コミュニケーションの調和のとれた豊かな人間性と、広い視野をもち、社会を生き抜く力を身につけた児童の育成を図るため、子ども、教員、保護者、地域社会等それぞれの立場の共通の目標を教育目標として掲げる。

〈学校教育目標〉

やさしく	思いやりのある子	思いやる心	感動する心	協力する心
かしこく	考える子	思考力	創造力	判断力
元気よく	元気な子	心身の健康	実践力	体力



■所在地：さいたま市見沼区島町 533-2 ■電話：048-685-0607
 ■FAX：048-685-5187 ■交通：JR 宇都宮線 東大宮駅 東口徒歩 20 分

01 「考える子」を育てるために、教員の授業力の向上と子どもの「真の学力」の育成をめざす



本校では、望ましい学習習慣の形成と基礎学力の向上を図る学習指導を実践しています。学習規律や学習ルールを徹底させ、学習への取組意識を向上させるとともに、全家庭へ「家庭学習のすすめ」を周知・啓発し、学習の習慣化を図っています。「考える子」を育てるために、「主体的」「対話的」「深い学び」な活動を取り入れた授業を展開し、全ての教科で体験的な学習や問題解決的な学習を充実できるように、全教職員がICT機器をはじめ教材や教具を有効に活用できるようにすること、少人数指導やTTにより、一人ひとりの児童の学習状況に応じたきめ細やかな指導を実践しています。



また、引き続き、小中一貫した授業規律の確立と児童の発達段階に即した系統的な指導を行っています。

02 開かれた学校づくりの推進



本校では、学校だよりやウェブページ等をとおして保護者・地域に積極的な情報発信を行っております。また、地域に根ざした教育を推進するために、地域の人材や周辺施設を活用した学習（1年昔遊び・2年町たんけんなど）にも力を入れております。また、地域とともに学校を作ることを目的とした学校運営協議会では、地域の有識者の方を委員としてお迎えし、多面的・多角的にご意見を頂くことで、地域に根差した学校運営を行ってまいります。その他、学校施設を地域に開放することや土曜・放課後チャレンジスクールの拡充も図ってまいります。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立

東宮下小学校



- 1 「かしく・やさしく・たくましく・一生懸命に」を学校教育目標に、『豊かな心を持ち、互いに認め合う児童の育成』を推進しています。
- 2 見沼の豊かな自然環境を生かし、地域での体験活動の重視した教育活動を推進しています。



■所在地：さいたま市見沼区東宮下 215 番地 1

■電話：048-685-3652

■FAX：048-685-5119

■交通：東武アーバンパークライン七里駅徒歩 30 分

01 地域の米作りから学ぶ

田植えから稲刈り、そして秋祭りに至るまでの体験活動へ



校区に広がる見沼たんぼの一部をお借りし、地域の農家の協力を得て、「学校ふれあい田」として、全学年で春には田植え、秋には稲刈り、そして収穫した米を活用した秋祭り「宮下まつり」を企画・体験する活動を行っている。

春、1 学年児童は、たんぼの泥に苦戦しながら上級生の手助けもあって、稲の苗を植える。学年が上がるごとに田植えの手つきや、稲刈りの鎌の扱いに慣れ、6 学年ともなると友達と協力しながら、あっという間に田に実った稲穂を収穫していく。収穫後は、「東宮下米」として販売を行った。また、地域の稲作指導者を招いて、稲わらを使った児童によるミニほうき作りやリース作りなどの体験活動を行った。

5 学年では、総合的な学習の時間のテーマを「東宮下米づくりを受け継ごう」とし、地域の米作りについて調査・研究した内容を社会科の学習において発表している。



02 ヨーロッパ野菜作りから学ぶ

キャリア教育の視点から、児童の「自立」につながる活動へ



6 学年の職業体験を通じて、会社づくりから利益の運用までの流れを知り、社会人として必要な資質・能力を身に付けることができるように「ヨーロッパ野菜づくりと販売の工夫」を取り上げ、学習を進めている。

さいたま市内の種苗会社から学習のために苗を供出していただいており、地域連携コーディネーターを通じて連携を図りながら、学級担任が、地域の企業力を借りて学習を進めている。

児童は、学校畑でヨーロッパ野菜を植えて育てている。害虫が発生しても、農薬を使わずに育てる難しさを実感したり、水はけを良くするための側溝づくりや、防風ネットを張るなどの工夫を学んだりしている。また、実際に働く方の話を聞いて販売の工夫を学び、収穫した野菜を実際に販売し、学校に還元していく等の働く喜びを実感させる活動を行っている。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立

海老沼小学校



スローガン

かしこく やさしく たくましく生き抜く子 笑顔と挨拶があふれる学校づくり

めざす児童像

主体的に考える子 (知) かしこく
 思いやりや感動する心をもった子 (徳) やさしく
 心身ともに健康な子 (体) たくましく } 生涯学び続ける子 (生き抜く子)

めざす学校像

学ぶ喜びのある学校
 人との関わり合いを大切に、地域と共に歩む信頼された学校
 安心・安全で美しい学校

めざす教師像

確かな授業力を持ち、個に応じた指導ができる教師
 豊かな人間性を備え、子どもに添った指導のできる教師
 教育者としての使命感のある教師

■所在地：さいたま市見沼区大字東新井710番地5 ■電話：048-686-2125
 ■FAX：048-686-5350 ■交通：JR 大宮駅東口よりバスで南中野バス停下車5分

01 児童の登校・日常における危機回避能力を育む交通安全指導



本校は県道1号さいたま川口線（第二産業道路）と県道214号線の近くに位置し、交通量の多い地区です。また学区も縦に長く、一番遠い場所らの登校には、20分以上かかる児童もいるため、交通安全への配慮は重要不可欠

となります。そこで、通学路や生活圏内における交通での危険な場所や注意すべき場所、また近隣の交通事情や事故等の状況を知り、交通安全について考える指導や自転車乗り方シュミレーター体験等から学ぶことで、交通事故から身を守る方法を育んでいます。



02 世界すべての人の幸せを願って行動する心育む福祉教育



児童委員会の一つである環境委員会の取り組みとして、ペットボトルキャップを回収しています。これは回収業者に資源として引き取られ、その時生じた金額の一部が、「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」に寄付されます。その後当委員会はユニセフと連携して世界のワクチン工場へ発注し、製造・空輸されて支援国に届けられます。どの学年の児童も、この取り組みに参加し環境委員会児童はペットボトルキャップの収集率が上がるよう、様々な工夫を凝らしています。この取り組みが、児童の互いに助け合おうとする心を育む一端を担っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDG s 教育を推進しています。



さいたま市立

春野小学校



目指す学校像

「元気いっぱい 笑顔いっぱい 感動いっぱい 春野っ子」

- 1 学ぶ楽しさや喜びを味わい、互いに磨き合うことができる学校
- 2 安全に配慮し美しく整えられた環境づくりがなされている学校
- 3 家庭・地域との連携を深め、地域と共に生きる学校



■所在地：さいたま市見沼区春野 1-10-1 ■電話：048-685-3055

■FAX：048-685-3488

■交通：東大宮駅よりバスで「春野小学校」下車 徒歩 2分

01 環境保全に寄与する児童を育てる環境教育の充実



本校は環境教育の取組を教育活動の柱の一つに位置付けています。本校の目の前には多目的遊水地があり、ここには、一年を通して野鳥が飛来し、絶滅危惧種のタコノアシの自生も確認されている自然豊かな場所です。本校は、この立地条件を生かし、総合的な学習の時間を中心に、地球に優しい主体的な行動がとれる児童の育成を目指しています。

総合的な学習の時間では、多目的遊水地の生き物調査やごみ

調査からの「ごみ0作戦」の実践、委員会の活動では、グリーンカーテンづくり、絶滅危惧種タコノアシの栽培・繁殖、牛乳パックリサイクル事業への協力、学校単位として、ごみの分別、PTAと連携した古紙等の資源回収事業への協力を行っています。

また、本年度は森林資源（二陸の豊かさ）の保護として、配布文書のペーパーレス化を推進しています。



02 「自助」・「共助」ができる児童を育てる防災教育の推進



いつ発生するか分からない地震、火災等の自然災害に対して、正しい判断をし、自分の命を自分自身で守っていく力を児童に身に付けさせていくことも学校教育においては大切です。本校では、「自ら安全な行動ができる」、「自らの命は自分で守ることができる」児童の育成を目指しています。

6学年では、これまで学んだ知識に加え、起震車体験を通し、より防災への理解を深めています。安全指導では、地震や火災だけではなく、竜巻対応訓練、シェイクアウト訓練、防火シャッター作動・防火扉体験訓練等の多様な訓練を実施しています。



03 地域の特徴を生かした「春野っ子米スマイル30プロジェクト」



昨年度は創立 30 周年を迎え、地域の特徴を生かして児童自身が米作りを体験しできた米を給食としていただく「春野っ子米スマイル30プロジェクト」を実施しました。1度かぎりではなく持続可能な取組とするため、本年度からは実施学年を限定する・面積を減らすなど、規模を縮小して実施しています。

